

# 授業で行う Short Debate

[著] 北原隆志 [編集協力] 小林良裕



## 【はじめに】

HPDU 理事長の北原隆志(渋谷教育学園渋谷中学高等学校)が作成した、授業で英語ディベートを行うための資料です。授業でディベートを取り入れたいと思っても何をどうしたら良いかと悩んでいらっしゃる先生、是非このファイルを開いてみてください。明日からでも授業ディベートを始めてみてください。

## <目次>

- [A] 先生用マニュアル (p.2)
- [B] 司会用スクリプト (p.3~4)
- [C] 生徒用プリント (p.5~7)
- [D] 座席の例 (p.8)
- [E] 各スピーカー用 準備用紙 (p.9~14)
- [F] ジャッジ注意事項 (p.15)
- [G] ジャッジ用シート (p.16)

## ◆ [A] 授業で行う Short Debate 先生用マニュアル

### ○ 進め方

- ① 前の時間やホームルームなど、事前にジャッジを必要人数分決めさせます。英語ディベート部員、英語圏からの帰国生がいたらジャッジをやらせて下さい。それでも足りない時はクラスから英会話を得意とする人を選出させて下さい。ジャッジの人数については②を参照してください。
- ② 前の時間、あるいは Debate の授業当日一番にチーム分けをします。Government(肯定側) 3人のチーム対 Opposition(否定側) 3人のチームにジャッジが 1人つく組み合わせが基本となりますが、クラスの人数によっては 2人対 2人にジャッジ 1人という組み合わせや、3人対 2人にジャッジが 1人という組み合わせが出る場合もあります。  
  
例) 28人クラスの場合 : [3対3 + ジャッジ1] が4グループできます。  
36人クラスの場合 : [3対3 + ジャッジ1] が3グループ、[2対2 + ジャッジ1] が3グループできます。  
35人クラスの場合 : [3対3 + ジャッジ1] が2グループ、[2対2 + ジャッジ1] が3グループ、  
[3対2 + ジャッジ1] が1グループできます。
- ③ 話し合いができる体制ができたなら、相手チームの代表とジャンケンをするように言って下さい。勝ったチームが Government side(肯定側)、負けたチームが Opposition side(否定側)となります。
- ④ 各チームから 1人、教卓に来させ、Preparation Form を渡して下さい。その際、Government side(肯定側)用と Opposition side(否定側)用が異なりますのでご注意ください。
- ⑤ 全員が着席したら、スピーチをする順番を決めるように指示して下さい。2人チームの場合は the 1<sup>st</sup> speaker が the 3<sup>rd</sup> speaker を兼任しますので、そのこともお伝えください。  
  
<ここまでを 10分、長くても 13分で終わらせたいですね>
- ⑦ いよいよ debate の開始です。下の time schedule と次ページからの Script に従って進めてください。

### ■ 追加で生徒に説明が必要なこと

#### 【signpost の作り方について】

サインポスト(標識)とは、聞く人がノートを取りやすいように議論を数語でまとめた名詞(句)です。例えば : health problem / better education / popularity / economic harm / unemployment  
議論を考えるヒントとして、教員があらかじめサインポストを与えても良いでしょう。

#### 【definition について】

何に対して賛成・反対するのか混乱を防ぐために、肯定側の 1人目のスピーカーが与えられた論題の細部を「こう解釈します・こう設定します」と決めることです。たとえば、「We should make education free」という論題が与えられた場合、「大学の授業料の無償化」から「国による全国の小中学校での学力調査の廃止」、そして「制服の廃止」まで解釈の可能性があります。大学生の大会では、意図的に曖昧な論題を与え、肯定側と否定側で定義をめぐる駆け引きをさせることがよくあります。高校の授業で行う際は、選手が定義を考えるのではなく、論題の定義は教員が全体に提示する方が好ましいでしょう(先ほどの例では、そもそも生徒に与える論題を“Japanese government should make university tuition free”という形にします)

\*それぞれより詳しい説明は HPDU のサイトの他の教材をご覧ください。

## ◆ [B] 授業で行う Short Debate 司会用マニュアル (Script)

\*以下の進行マニュアルで、司会说う台詞は**太字**で示されています。

### [1] 本日の motion(論題)の発表

- **The motion for today is this.** [板書して下さい↓]

Motion: **This house** (この議会) believes that... や **This house** (この議会) would ... という形が一般的です。HPDU の資料をご覧くださいと色々と載っていますので、ご参照下さい。

- **10 minutes to prepare. Ready, start!** (時間を計ってください)

この間にジャッジを呼んで judge sheet と注意事項が書かれた紙を渡します。Judge sheet には自分の氏名を書き、debate が始まる前に両チームに各スピーカーの出席番号、および氏名を書かせるように指示して下さい。また、注意事項を必ず読んでおくように言って下さい。

### [10 分後] ○ **Time is up!**

### [2] 肯定側 the 1st speech by Prime Minister

- **Prime Minister. Stand up. Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。  
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。  
開始から 3 分後 Time is up!

### [3] Preparation Time

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1 分後]

### [4] 否定側 the 1st speech by Leader of the Opposition

- **Leader of the opposition side. Stand up. Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。  
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。  
開始から 3 分後 Time is up!

### [5] Preparation Time

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1 分後]

### [6] 肯定側 the 2nd speech by Member of the Government

- **Member of the government side. Stand up. Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。  
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。  
開始から 3 分後 Time is up!

[7] Preparation Time

---

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1分後]

[8] 否定側 the 2nd speech by Member of the Opposition

---

- **Member of the opposition side. Stand up. Please make 3 minutes speech.**

開始から1分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。  
開始から2分30秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。  
開始から3分後 Time is up!

[9] Preparation Time

---

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1分後]

[10] 否定側 the 3rd speech by the Reply speaker

---

- **Reply speaker for the opposition side. Stand up. Please make 3 minutes reply speech.**

[3分後] ○ **Time is up!**

[11] 肯定側 the 3rd speech by the Reply speaker

---

- **Reply speaker for the government side. Stand up. Please make 3 minutes reply speech.**

[3分後] ○ **Time is up!**

[12] ジャッジによる勝利チームの発表

---

- **Judges, you have one minute to decide the winner and the best debater in your house.**

[1分後]

- **It's time for the judges to announce the winner and the best debater.**

- **Please tell the speakers why you decide it and give some advice to them.**

時間が許す限りジャッジによる講評の時間を続けさせ、終了。

【Time Schedule】 \*45分または50分1コマの授業用

【グループ分け・役割決め】 10分程度
【Preparation Time】 10分
【試合】 (22分) <ul style="list-style-type: none"><li>・ PM 3分 + 1分の準備時間</li><li>・ LO 3分 + 1分の準備時間</li><li>・ MG 3分 + 1分の準備時間</li><li>・ MO 3分 + 1分の準備時間</li><li>・ Opposition Reply 3分</li><li>・ Government Reply 3分</li></ul>
【ジャッジの講評】 5~8分程度

## ◆[C] 授業で行う Short Debate 生徒用プリント

### 【試合の流れ・やり方】

#### ①【グループに分かれる】

Government(肯定側) 3人のチーム対 Opposition(否定側) 3人のチームにジャッジが1人つく組み合わせが基本となりますが、クラスの数によっては2人対2人にジャッジ1人という組み合わせや、3人対2人にジャッジが1人という組み合わせが出る場合もあります。

例) 28人クラスの場合:[3対3 + ジャッジ1]が4グループできます。

36人クラスの場合:[3対3 + ジャッジ1]が3グループ、[2対2 + ジャッジ1]が3グループできます。

35人クラスの場合:[3対3 + ジャッジ1]が2グループ、[2対2 + ジャッジ1]が3グループ、  
[3対2 + ジャッジ1]が1グループできます。

まずジャッジを必要人数分決めます。慣れてくれば誰でも良いのですが、最初は英語ディベート経験者、英語を得意とする人、よろしくお願いします。

#### ②【肯定否定・役割分担決め】

次に先生の指示に従い、ジャッジを除いたメンバーでチーム分け、および side 決めをします。Government / Opposition のサイドが決まったら、チーム内で話し合っ、役割を決めます。それぞれ、以下のように3つの役割があります。

[Government side] 1人目のスピーカー: Prime Minister  
2人目のスピーカー: Member of the Government  
3人目のスピーカー: Reply Speaker

[Opposition side] 1人目のスピーカー: Leader of the Opposition、  
2人目のスピーカー: Member of the Opposition  
3人目のスピーカー: Reply Speaker

#### ③【準備時間】

先生が論題 (motion) を発表します。

10分間で Argument(理由)を2つ考えます。この間、ジャッジは先生と打ち合わせをします。

#### ④【試合開始】

時間が来たら、ジャッジがお誕生日席になるように肯定側と否定側が向き合った形で机を並べ、先生の指示に従って Debate をスタートします。各人の役割とスピーチの流れは以下の通りで、全て先生の合図で進めていきます。

#### 【試合全体に関わること】 POI [point of information]について

相手側の第1、第2 speaker のスピーチ中の開始後1分から2分30秒の間、自分たちの side に有利になるような質問を積極的にすること。質問をする際はその場に立ち、手を上げて“Point!”あるいは“Point of information!”とか、単純に speaker が男性なら“Sir!”、女性なら“Madam!”と言う。Speaker に“Yes, please.”と言われたら15秒以内で質問をする。Speaker は全ての POI をとる必要はないが、少なくとも1つは受けなければならない。断る時は“No thank you.”と言う。話の区切りで受けようというのであれば、“Later please.”と言って待たせておき、“Go ahead.”とか“Please.”と言って質問を受ける。

\*POI は、相手のスピーチの切れ目に立つように心がけると、お互い取りやすくなります。

\*POI を2回ほど取らないと、3分間のスピーチを時間いっぱい続けることは難しいかもしれません。

1. Government Side Prime Minister 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

(1) 挨拶と論題の確認

(2) Definition 論題であいまいな語があれば定義して、Government 側がその試合で証明する plan あるいは case statement を示す。（\*注 試合を混乱させないように、教員があらかじめ定義をしている場合もあります）

(3) First argument 最初に肯定側の第一の主張を名詞でわかりやすく表現し（議論の見出し・トピックのことで、「サインポスト（標識）」と呼ばれます）、その後文章で説明。論理だけでなく、説得力のある例を挙げること。

2. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Government Side の the 1<sup>st</sup> speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

3. Opposition side Leader of Opposition 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

(1) 挨拶

(2) Refutation 肯定側が出した First argument に対し反論する。

(3) First argument 最初に否定側の第一の主張を名詞でわかりやすく表現し（「サインポスト」を出す）、次に文章で表現する。続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

4. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Opposition Side の the 1<sup>st</sup> speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

5. Government Side Member of Government 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

(1) 挨拶

(2) Refutation 否定側が出した First argument に対し反論する。

(3) Reconstruction 自分たちの First argument に対する否定側からの反論に対し、さらに反論する。

(4) Second argument 第二の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。

続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

6. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Government Side の the 2nd speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

7. Opposition Side Member of Opposition 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

(1) 挨拶

(2) Refutation ① 肯定側の First argument に対する Reconstruction を崩すようさらに反論する。

(3) Refutation ② 肯定側の Second argument に対して反論する。

(4) Reconstruction 自分たちの First argument に対する肯定側からの反論に対し、さらに反論する。

(5) Second argument 第2の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。

続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

8. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Opposition Side の the 2nd speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

<注意： Reply Speech では、Opposition Side が先に話します。両者の間に準備時間はありません>

9. Opposition Side Reply speaker 3分間 (スピーチの間、他の人は話をしてはいけない)

(1) 挨拶

(2) Summary いくつかの争点 (clash point) に絞って総括し、いかに否定側が肯定側よりも優れていたかを説明する。その際、新しい議論は出してはいけないが、すでに出した自分たちの二つの議論を補強するさらなる具体例を導入しても良い。 \*注) 大会によっては、Reply Speech では新しい例も出してはいけないことになっている場合もあります。

10. Government Side Reply speaker 3分間 (スピーチの間、他の人は話をしてはいけない)

(1) 挨拶

(2) Summary いくつかの争点 (clash point) に絞って総括し、いかに肯定側が否定側よりも優れていたかを説明する。その際、新しい議論は出してはいけないが、すでに出した自分たちの二つの議論を補強するさらなる具体例を導入しても良い。

11. 試合後のまとめ・ジャッジの講評

(1) ジャッジによる vote

1分間じっくりと考えた上でどちらのチームに票を入れたか英語で発表する。

(2) ジャッジによる Oral Adjudication

ディベーターに対して勝敗の判断理由を英語で丁寧に説明する。

(3) ジャッジはジャッジシートを先生に提出する。

◆ 注意

① 各 speaker は別紙のフォーマットに従って英語で発表して下さい。見ながらやってもかまいません。

② 学習していない単語や忘れてしまった単語については簡単な単語を使い、似たような意味を持つ英文を作っていけば自分の言いたいことを伝えることができます。

例) He is respected by many people. (尊敬されている) → Many people think he is great, and like him.

③ 学習していない単語や度忘れしてしまった単語で、どうしても簡単な表現に直せない場合は、その日本語を英語のように発音すれば使ってもかまいません。ただし、その際も英語の文型にそれを当てはめる形で行うこと。例) *Dokutokage* are very dangerous. There is a beautiful *kabin* on the desk.

④ 「形容詞のみ」「好き嫌い」「助動詞が入った文」は論理的な理由になりません。

例) We should have a dog as a pet because it is very cute. ←×

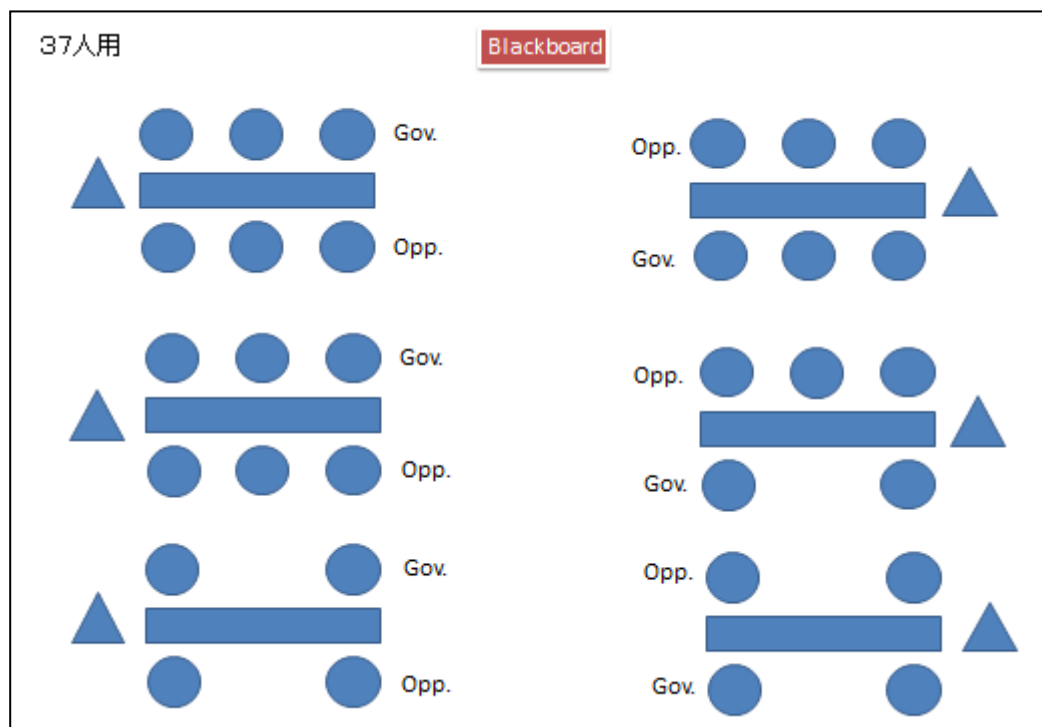
Cats are better than dogs because I like them. ←×

⑤ 一度の発言に理由は一つのみ。2つも3つも言わないこと。

⑥ 今回のディベート練習では、reason をサポートする証拠をいかに的確に、かつ有効的に示せるかに重点を置いています。英語力の根本は話す内容を持っていることです。社会の授業や自学で得た知識や、論題に関して授業で事前にプリントが配られている場合は、その情報を積極的に使うこと。

⑦ スピーチ中は辞書やその他プリントは見えてはいけません。見て良いのは Preparation Form のみとします。

## ◆ [D] 座席の配置例



- ●がディベーター、▲はジャッジです。教員は黒板の前でタイムマネージメント(司会)をします。
- 各チーム、ジャッジに近い方から 1st speaker、2nd speaker、3rd speaker の順番で座ります。
- 各チーム、3対3がベストですが、数が合わないということもよくあります。その際は、図のように2対2、3対2で行って下さい。1st speaker が 3rd speaker を兼ねるのが良いと思います。
- ジャッジを2人で行うというパターンも可能です。



## ■ PM (Prime Minister) preparation form (肯定側・1人目)

[3分スピーチ / POIあり]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone in this house. (\*左の house とは「議会」のことを差します)

論題

Today, we are given the motion that : (↓論題を書き写しておき、スピーチで読み上げる)

We, the government side strongly support this motion.

【以下は定義が必要な場合だけ使うこと。それ以外は省略】

Let me define the motion.

[.....]

導入

We have two arguments. [↓サインポスト(これから説明する議論を数語の名詞(句)にまとめたもの)を読み上げます]

Our first argument is [.....].

Our second argument is [.....]. ←2つ目は MG が説明します。

議論

So, let me explain our first argument. It is [.....]. 【←サインポストを入れる】

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶

So for all these reasons, we beg to propose. Thank you.

## ■ LO (Leader of the Opposition) preparation form (否定側・1人目)

[3分スピーチ / POIあり]

挨拶 Good [morning/afternoon] everyone.

論題 We, the opposition side strongly believes that : ( ↓論題を否定文にした文を読み上げる)

反論 Let me refute what the previous speaker has said.

First, [ he / she ] said : [肯定側の1つめ目の議論を要約する]

However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論の説明]

So, their argument does not stand.

導入 Now, we have two arguments.[ ↓サインポスト(これから説明する議論を数語の名詞(句)にまとめたもの)の読み上げ]

Our first argument is [ ] .

Our second argument is [ ] . ←2つ目はMOが説明します。

議論 So, let me explain our first argument. It is [ ] . [ ←サインポストを入れる]

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶 So for all these reasons, we beg to oppose. Thank you.

■ **MG** (Member of the Government) preparation form (肯定側・2 人目)

[3分スピーチ / POIあり]

挨拶	Good [morning/afternoon] everyone.
反論	<p>First, let me refute what the previous speaker has said.</p> <p>□ First, [ he / she ] said : [否定側の1つ目の議論を要約する]</p> <p>□ However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論の説明]</p> <p>So, their argument does not stand.</p>
立て直し	<p>Now, let me reconstruct my partner's argument.</p> <p>□ The previous speaker said : [否定側に反論された内容を要約する]</p> <p>□ However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論への反論]</p> <p>Therefore, our first argument still stands.</p>
議論	<p>Next, let me explain our second argument. It is [ ]. [←サインポストを入れる]</p> <p>□ Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]</p> <p>□ Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]</p> <p>□ I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]</p>
挨拶	So for all these reasons, we beg to propose. Thank you.

## ■ MO (Member of the Opposition) preparation form (否定側・2人目)

[3分スピーチ / POIあり]

挨拶	Good [morning/afternoon] everyone.
MGの議論の立て直しへの反論	<p>First, let me examine what the previous speaker said to reconstruct their first argument.</p> <p><input type="text"/> Member of the Government said : [LOの反論に対して、MGが立て直したことを要約する。]</p> <p><input type="text"/> However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論の説明]</p>
MGの新しい議論に反論	<p>Next, let me refute their second argument.</p> <p><input type="text"/> [ He / She ] said : [肯定側の2つ目の議論を要約する。]</p> <p><input type="text"/> However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論の説明]</p> <p>So, their argument does not stand.</p>
立て直し	<p>Now, let me reconstruct my partner's argument.</p> <p><input type="text"/> The previous speaker said : [肯定側に反論された内容を要約する]</p> <p><input type="text"/> However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論への反論]</p> <p>Therefore, our first argument still stands.</p>
議論	<p>Next, let me explain our second argument. It is [ <input type="text"/> ]. [←サインポストを入れる]</p> <p><input type="text"/> Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1つ目の議論全体を1文でまとめて説明]</p> <p><input type="text"/> Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]</p> <p><input type="text"/> I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]</p>
挨拶	For all these reasons, we beg to oppose. Thank you.

# ■ Reply Speaker(Opposition) preparation form (否定側・3人目)

[3分スピーチ / POIなし]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

導入

In order to summarize this round, we need to ask two questions.

First question is : [試合をまとめる上で大切だと思う問いを疑問文の形で示す]

Second question is: [試合をまとめる上で大切だと思う問いを疑問文の形で示す]

So, let me explain one by one.

争点

Now, let's think about the first question: [1つ目の問いを繰り返して確認]

①

What the government side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important ] because:

So, what they said was quite doubtful.

On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue.

争点

Now, let's think about the second question: [2つ目の問いを繰り返して確認]

②

What the government side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important ] because:

So, what they said was quite doubtful.

On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue, too.

挨拶

For all these reasons, we have won this round. Thank you.

# ■ Reply Speaker(Government) preparation form (肯定側・3人目)

[3分スピーチ / POIなし]

挨拶	Good [morning/afternoon] everyone.
反論 ②	<p>First, let me refute their second argument.</p> <p>[ He / She ] said : [MOが出した否定側の2つ目の議論を要約する。]</p> <p>However, this is not [true / always true / relevant / important ] because: [反論の説明]</p> <p>Therefore, their argument does not stand.</p>
導入	<p>Next, let me summarize today's round. This round comes down to two issues.</p> <p>First issue is : [試合をまとめる上で大切だと思う争点を疑問文の形で示す]</p> <p>Second question is: [試合をまとめる上で大切だと思う問いを疑問文の形で示す]</p> <p>So, let me explain one by one.</p>
争点 ①	<p>Now, let's think about the first issue: [1つ目の問いを繰り返して確認]</p> <p>What the opposition side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]</p> <p>However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important ] because:</p> <p>On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]</p> <p>Therefore, our side is superior on this issue.</p>
争点 ②	<p>Now, let's think about the second issue: [1つ目の問いを繰り返して確認]</p> <p>What the opposition side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]</p> <p>However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important ] because:</p> <p>On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]</p> <p>Therefore, our side is superior on this issue, too.</p>
挨拶	For all these reasons, we have won this round. Thank you.

## ◆ [F] ジャッジの注意事項

### 【試合中にすること】

- ・スピーチは立って行ないます。スピーカーが座っていたら、Please stand up. と声をかけて下さい。
- ・スピーチの最中は誰も話をしてはいけません。話をしたら注意して下さい。ただし、与えられた時間よりも早くスピーチが終わった場合は、他のグループがスピーチをしていても次のスピーチについての話し合いを始めてもかまわないことになっています。ただし、あまり大きな声で話していたら注意して下さい。
- ・スピーチの間はジャッジも話をしてはいけません。たとえスピーカーの言っていることがわからなくても意味を聞いたりしないで下さい。自分に伝わってこなかったらそれはスピーカーの責任ですから、理解できた部分だけを評価して下さい。ただし、スピーチとスピーチの間の準備時間であれば、「あれはこういうことですよね。」と少し確認しても問題はありません。
- ・POI の記録：相手側の第 1 および第 2 スピーチに対して 1 人必ず一回は POI をしなければなりません。誰かが POI の意思を示し立ち上がったら、その都度、ジャッジシートのその人の POI 欄の○にチェックを入れてください。POI の数が多ければ多いほど積極的な選手ですので、ベストスピーカー決定の際はスピーチに加えて評価に入れて下さい。また、スピーカーは POI を最低 1 回は取らないといけないことになっています。全くとらなかった場合は消極的なスピーカーだと評価して下さい。

### 【勝敗の決め方・フィードバックの仕方】

- ・最終的に勝敗を決めるポイントは、「どちらの意見の方がより論理的で説得力があったか」ということです。英語スピーチ力が高いと話に説得力が増すことは確かですが、あくまでも論理を大切に、決して英語の発音や流暢さを勝敗の理由にしてはいけません。
- ・スピーカーが出した意見のうち反駁していないものがあっても、いろいろ出された意見の中でこれが圧倒的に強いと思うものがあれば、それを出したチームを勝ちにします。
- ・両者とも論理的に本当に強弱がつけがたいという場合は、より多くの適切な具体例を出した方を勝ちにすると良いでしょう。Quote の数が多く効果的に使われていれば高く評価して下さい。
- ・ベストスピーカーは一番説得力のあったスピーチを行なったと思う人を選びます。①定義づけや反駁、建て直し等それぞれの役割を果たしていたか、②POI を積極的に行っていたか、③論理性は高かったか、④Quote や具体例を効果的に使っていたかで決めて下さい。それでも甲乙がつけられない時はスピーチ力(=アイコンタクト、話し方などスピーチコンテストで評価されるような力)を考慮に入れて決定してください。
- ・Feedback は**必ず英語**で行なってください。勝敗を決めた理由をできるだけわかりやすく伝えて下さい。その後、スピーカー 1 人 1 人に対してアドバイスをして下さい。その際、良かった点と改善したほうが良い点、その両方を必ず言って下さい(60%良かった点、40%改善点でお願いします)。

### スピーカーへのアドバイスのポイント

- ① presentation の仕方：英語の聞き取り易さ、速さ、強弱、ジャッジへのアイコンタクト
- ② procedure に沿っていたか：順番通りに議論を進め、役割をしっかりと果たしていたか
- ③ contents の質：論理的に主張を展開できたか、example の量とその効果
- ④ time management：3分間を有効に使うことができたか、反論に時間がとられ主張の時間がなくなったりはしなかったか
- ⑤ POI、POI に対する受け答え：各人、1つ以上行なったか、効果的だったか

